

ベーリンガーインゲルハイムの創薬戦略と革新的 DDS 技術への期待

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

神戸医薬研究所 所長

和田 耕一

分子生物学の目まぐるしい発展により創薬モダリティが多様化している状況下で、薬物送達システム（DDS）はそれらを新しい治療技術として達成するために、非常に重要な役割を担っている。近年の COVID-19 に対するワクチン開発に代表されるように医薬品の研究開発をかつてないスピードで進めていく必要があり、製薬企業においては、アカデミアやスタートアップとの連携により外部の研究アイデアや技術を組み合わせて研究開発を推進することは非常に有効なアプローチだと考えている。

本講演では、弊社の創薬戦略とともに、外部との連携による研究開発活動について DDS 技術が大きく貢献しているいくつかの事例を挙げながら紹介させていただく。